

仲間の迅速な行動が、 命をつなぎました

～ 2026年5月 学校の部活動中に起きた「救命の連鎖」の物語 ～

バスケットボールの練習中に 心肺停止

2026年5月、学校の部活動中に、
18歳の男子学生がバスケットボールの
練習中に突然倒れ、心肺停止となりました。
倒れた直後、仲間たちは直ちに胸骨圧迫を
開始し、学校に設置されていたAEDを使用し
電気ショックを行いました。
救急隊の到着前に心拍が再開し、
入院治療を経て、後遺症なく社会復帰しました。



救命の連鎖



1 突然倒れる

練習中、18歳の男子学生が突然倒れ、意識を失いました。

2 119通報・胸骨圧迫

仲間たちは直ちに胸骨圧迫を開始し、119番通報とAEDの手配を行いました。

3 AEDで電気ショック

AEDの解析後、電気ショックを行いました。

4 救急隊へ引き継ぎ

救急隊が到着し、適切な処置とともに引き継ぎを行いました。

5 その後の経過

入院治療を経て、後遺症なく社会復帰しました。



**救急車が到着するまでの時間、
あなたの勇気で救える命があります。**



**いざという時のために、
救命講習を受けてみませんか？**

胸骨圧迫とAEDの使い方を知っておくことが、
大切な命を守る力になります。

ここから



詳しい内容・申し込み方法